

かいぞう

3年ぶりの笑顔に
やっと会えたね!



まだマスク越しだけどね。

海蔵地区の行事

3年ぶりに開催できました

新型コロナウイルスの感染状況を見守りつつ、令和4年度は、感染対策を行いながら様々な行事を開催することができました。

ずっと自粛していた「第29回人権を考える集い」「海蔵地区文化祭」「第32回海蔵地区グラウンドゴルフ大会」「第20回海蔵地区ニュースポーツ大会」などなど、これらの行事を通じて、地域のみなさんと共に楽しい時間を過ごすことができました。

今年度開催できた、たくさんの方の行事を6・7ページの「海蔵この一年」に紹介しています。ぜひ、そちらもご覧ください。

また、インスタグラム「#海蔵散歩」でも、みなさんからの情報をもとに、海蔵地区の紹介を毎日投稿しています。この「地区広報かいぞう」の紙面に掲載しきれない写真もご覧いただけます。

インスタグラム「#海蔵散歩」や海蔵地区ホームページでも紹介していますが、海蔵川河川敷の整備事業や、西阿倉川交差点の改良整備事業も、目に見えて大きく進んでいます。

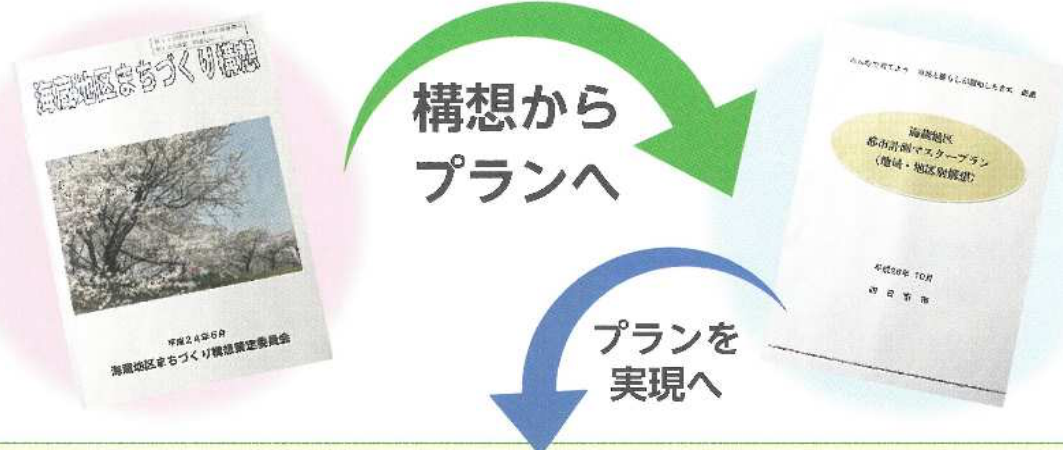
今年度は、「海蔵地区まちづくり構想」の策定・提言から10年の節目の年でもありました。この提言を受けて、概ね10年間の地域整備の取り組みが「海蔵地区都市計画マスタープラン」のプロジェクト事業として進められています。今回、プロジェクト事業の内容等について詳しく特集していますので、こちらもじっくりとご覧ください。

海蔵地区人口 総数 13,377人 男 6,705人 女 6,672人 世帯数 6,114戸 (令和5年2月1日現在)

編集・発行/海蔵地区まちづくり協議会・広報部 印刷/水九印刷株式会社

令和5年
5月

海蔵地区まちづくり構想 策定・提言から10周年



海蔵地区が変わります 三大プロジェクト事業が実現へ！！

- 西阿倉川変則交差点改良整備事業
- 阿倉川駅・駅前整備事業
- 三滝川分派・関連河川整備事業

海蔵地区まちづくり構想

市が行う都市計画に市民参加の機会等を確保するため、地区まちづくり構想の策定等を定めた四日市市都市計画まちづくり条例が制定されました。この条例を受けて、海蔵地区連合自治会（以下「連合自治会」）において構想策定組織を創設する決定が行われ、平成22年5月10日に「海蔵地区まちづくり構想策定委員会〔委員23名、顧問連合自治会長〕」（以下「構想策定委員会」）が発足しました。以後、地域の現状と課題を、まち歩きも行って出し合い、また、平成23年3月発行の地区広報「かいぞう」を通じて構想の中間まとめに対する意見募集を行いました。そして、各課題に対する取り組みの協議を重ね、「海蔵地区まちづくり構想」をとりまとめ、平成24年5月10日の連合自治会の承認を得て、同月25日に市へ提言（提出）しました。

海蔵地区まちづくり構想を実現する海蔵地区都市計画マスタープラン

海蔵地区まちづくり構想の提言を受けて、市は海蔵地区の「まちづくりの基本的方向」や「概ね十年間に予定する地域整備の取り組み」等を内容とする「海蔵地区都市計画マスタープラン（以下「海蔵地区都市マスプラン」）」（案）を策定しました。そして、平成26年7月25日の都市計画審議会の承認を得て、同年10月21日に海蔵地区都市マスプランの決定を構想策定委員会へ通知しました。

三大プロジェクト事業に地域の意見を反映

通知を受けて、平成27年1月19日に構想策定委員会を廃止し、「海蔵地区都市計画マスタープラン・まちづくり構想推進委員会〔略称＝海蔵地区都市マス委員会〕」が発足しました。そして、5月21日に開催された平成27年度総会において、「概ね十年間に予定する地域整備の取り組み」に掲げられた事業の中から三大プロジェクト事業を選定し、それぞれに整備検討部会を設置し、行政と整備計画等について協議しながら地域としての意見を述べ、また情報を提供してきました。

海蔵地区都市マス委員会の紹介

連合自治会6地域ブロックから各2名の自治会長12名、地域団体代表者20名、旧構想策定委員会委員5名、当委員会の他地区組織からの推薦者14名の計51名の委員で構成し、現及び前の連合自治会長が顧問です。

委員は、それぞれ三つの検討部会に所属しています。

- 西阿倉川変則交差点改良整備検討部会 15名
- 阿倉川駅・駅前整備検討部会 14名
- 三滝川分派・関連河川整備検討部会 23名
- ※2部会所属 1名

海蔵地区まちづくり構想及び海蔵地区都市マスプランは、海蔵地区ホームページや海蔵地区市民センター備え付けの冊子でご覧いただけます。海蔵地区都市マス委員会の概要も、海蔵地区ホームページでご覧いただけます。

交通渋滞の改善に向けて 5月中に十字路交差点となって開通します

平成19年、海蔵地区市民センターの南側を通る赤堀山城線と、山手中学校方面から下る阿倉川西富田線の丁字路交差点は、西側に近接する既存の阿倉川野田線の丁字路交差点とクランク形状で食い違う変則交差点となって開通しました。海蔵地区は、市の中心部の北西に接する交通量の多い地域であり、出勤帰宅のラッシュ時に渋滞が生じるようになっていたことから、その緩和に向けて、同交差点を十字路交差点に改良する整備事業に取り組むことになりました。

平成27年度以降、その整備計画について市〔担当課：道路建設課〕と協議を重ね、その結果、令和2年10月から仮設道路や堀川右岸の橋梁下部の工事が始まりました。令和3年7月からは、堀川左岸の橋梁下部・架橋、交差点の改良・新設道路の整備、そして仮設道路の撤去と完成までの工事が続きますが、令和5年5月中に十字路交差点となって開通します。

なお、阿倉川西富田線の山手中学校方面からの左折レーン新設と、西側歩道に残る一部の狭い区間の拡幅は、今後も市においてその整備に努めます。

○十字路交差点となると、どう変わりますか？

- ・現在、変則交差点は三つの信号で制御され、その1サイクル時間は交通ラッシュ時に120秒に設定されています。十字路交差点になると三つの信号が二つになり、1サイクル時間が短くなります。サイクル時間は時間帯で設定され、周辺の信号とも連携します。
- ・十字路交差点の右折車線は、野田二丁目東交差点方面から約55mが新設され、山手中学校方面からと海蔵地区民センター方面からは、それぞれ5m延長し、約60mと約95mとなります。海蔵保育園方面からは、現在と同じ長さの約55mで、位置が少し東に移ります。
- ・現在、南北の通行ルートはクランク形状ですが、ゆるやかな曲線形状の十字路交差点となり、直進できます。
- ・阿倉川野田線の丁字路交差点は廃止され、車両の出入りはできなくなります。が、歩行者や自転車は出入りできます。



設置された堀川橋梁上部(令和4年5月)

引き続き、野田二丁目東交差点の改良に取り組みます

開通する十字路交差点の南方向にある、阿倉川野田線と国道365号が交わる野田二丁目東交差点も、右折レーンが無く、交通ラッシュ時に渋滞が生じています。同交差点の改良に向けて、県・市と協議していきます。

西阿倉川変則交差点 改良整備事業



開通前の交差点



開通後の交差点

利用者の利便性向上に向けて 駅前広場・駐輪場整備が令和5～6年度に行われます

阿倉川駅 駅前整備事業

阿倉川駅は、昭和4年1月30日の伊勢電気鉄道四日市～桑名間の開業に伴い誕生した歴史ある駅です。

地場産業の萬古焼事業が盛んであった当時から駅の利用者は減少しましたが、平成22年度で1日平均約2,200人の乗降者があり、誰もが利用しやすい駅に、また満車状態の駐輪場や駅前広場の送迎車両対応に課題があったことから、それらの整備事業に取り組むことになりました。

平成27年度以降、市と『阿倉川駅のバリアフリー化』〔担当課：都市計画課〕及び『駐輪場・駅前広場の拡充』〔担当課：都市計画課・道路建設課〕の整備計画について協議を進め、また市においては、近畿日本鉄道との協議を進めてきました。

【バリアフリー化整備は、平成30年度に完了しました】

平成29年度：券売機を車椅子対応にする蹴り込みの整備

平成30年度：駅舎と地下通路及び地下通路と下りホームを結ぶ2箇所のエレベーター、駅舎上りホームを結ぶスロープ、障がい者対応型トイレ、触知案内板等を設置

駅前広場整備・駐輪場整備の概要



○駅前広場はどうなるの？

- ・広がります。(現在の約1.5倍)
- ・一方通行のロータリーで、駅舎前の送迎車両は、横づけとなります。縦づけスペースもあります。
- ・駅舎前から左右に歩道を整備し、駅舎前には、屋根が付きます。

○駐輪場はどうなるの？

- ・駐輪台数が増えます。(自転車572台、原付バイク12台予定 現在の駐輪台数は440台)
- ・駐輪ラックを設置します。
- ・駐輪ラックスペース上に、屋根及び照明を設置します。
- ・駅舎に近くなります。
- ・駅舎前歩道との直接出入口を設置します。

三滝新川(分派)の本格整備と堀川の内水対策が進みます

三滝川の増水時に、一部の水を海蔵川へ分派させる三滝新川は、昭和50年代後半までに「暫定整備」されましたが、長年にわたり雑草・雑木が繁茂し、ごみが投棄されるなど、環境面で課題となっていました。平成元年度から始まった三滝川ふるさとの川整備事業（以下「ふるさとの川整備事業」）の一環として、本格整備が行なわれることとなりました。また、堀川は、従来から海蔵川が高水敷以上の増水となった場合、その流末の阿倉川樋門や三ツ谷樋門が閉じられて内水氾濫の危険性があり、それらの整備事業に取り組むことになりました。

平成27年度以降、「三滝新川の本格整備」〔県事業 担当課：四日市建設事務所プロジェクト推進課〕及び「堀川の内水対策」〔市事業 担当課：河川排水課〕の整備計画について協議を重ねてきました。その間に、ふるさとの川整備事業の三滝川下流部からの整備が進み、いよいよ三滝新川の本格整備とそれに関連する海蔵川の整備計画、そして堀川の内水対策整備計画が具体化してきました。

三滝川分派 関連河川整備事業



三滝新川(海蔵川側から三滝川方面を臨む)

三滝新川の本格整備と海蔵川の関連整備の概要（県事業）

三滝新川は、なぜ出来たのですか？ その計画は？

- 昭和16年度：昭和13年の出水を受けて三滝川から三滝新川を通じて海蔵川へ流下させ、三滝川下流は廃川とする河川改修事業に着手しました。
- 昭和36年度：昭和36年6月に発生した集中豪雨を契機として、海蔵川だけでは流量を賄えないということから、三滝川下流の廃川をせずに分派させる計画に変更しました。
- 昭和44年度：「三滝川では野田地点で流量960m³/秒、同地点で放水路により海蔵川へ400m³/秒を分派、放水路合流後の海蔵川では、上流からの510m³/秒と合わせて910m³/秒の流量配分とする計画」を内容とする河川改良工事全体計画を策定しました。
- 平成17年度：「河川改修の規模等について検証を行ったうえで昭和44年当時の流量配分を踏襲した計画」の河川整備基本方針・河川整備計画を策定しました。〔80年に1度の確率で発生し得る降雨により発生する洪水（流量の急激な増大）を防ぐ規模の河川整備を行うものとし、雨量は三滝川・海蔵川流域全体の平均で78.3mm/時間、483.1mm/日を想定しています〕

これまで、どのような事業が行われたのですか？

- 昭和50年代後半までの間に、三滝新川を暫定的に整備し、海蔵川は三滝新川合流部から下流部の直線流下のため、蛇行部の解消や狭窄部の拡幅等の堤防整備を行い、高水敷や低水敷の整備、堀川の阿倉川樋門の設置などを行いました。また、三滝新川の西に隣接する野田排水機場も設置しましたが、後に四日市市へ移管しました。

海蔵川及び関連河川の安全性は確認されているのですか？

平成27年3月から1年の工期で、水理模型実験や水理解析による、「分派・合流形状の検討」、「支川等に与える影響の検討」、「超過洪水・土砂堆積に係る検討」を行いました。「超過洪水の検討」では、計画流量の三滝川野田地点での流量960m³/秒の1.03倍(※)、1.2倍(※)、1.5倍(※)で検証を行い、流量が増加しても三滝川からの分派率は低減していくため、過度に海蔵川に流れないとの結果でした。「支川等に与える影響の検討」では、野田川については、三滝新川の完成による内水への影響が無いことを確認し、堀川については、引き続き平成28年度に影響評価を行いました。その結果をもとに平成30年度に市が堀川の内水対策の検討を行なって事業に反映しています。

※：それぞれ、おおよそ100年に1度、300年に1度、2,000年に1度の想定降雨量

三滝新川の本格整備に合わせての海蔵川の整備計画の概要

三滝新川の本格整備に合わせ、海蔵川の立木伐採や堆積土砂等撤去の河道整備等が必要です。令和4年度は、三滝新川の合流部付近から、上流に予定される堀川の放水路樋門設置位置付近(新海蔵橋上流側)までの間の立木伐採と、合流部付近から末広橋付近までの河道掘削工事及び阿倉川樋門放水路の修繕工事を行っています。以後、下流部の河道整備を行います。

三滝新川の本格整備計画の概要

令和8年度の方派完成を目指して、下記の①～④の工事を順次進めます。⑤の工事は、その後に行います。

①低水護岸整備工事

三滝新川の中を通る低水路の護岸を整備します。低水路の幅は護岸上部で約50mです。令和4年度から床止め[堰]より下流側(海蔵川方向)の兩岸の工事に着手しています。

②低低水護岸、床止め[堰]設置工事

三滝川の平常時の流量を確保するため、三滝新川の分派入口付近に高さ約50cmの低低水護岸を設置します。そして同護岸より下流側へ約120mの位置から約20mの間に水路保護のための護床ブロックを、そこから幅約10m、高さ約2mの床止め[堰]、更に下流側約35mの間に護床ブロックを敷設します。なお、堰の下を野田川の水路が現状と変わらず通ります。

③導流堤設置工事 増水時に三滝川の水を三滝新川へ導くため、末永町地先と三滝川の分派位置の対岸の高水敷に接した2箇所に設置します。

④低水路整備工事 水路の堆積土砂等を撤去します。

⑤高水敷整備工事 芝張りや幅3mの遊歩道を設置します。また、②の床止め区間と同じ区間に連節ブロックを敷設します。



三滝新川の本格整備後の海蔵川への流入は？

今回の改修により、三滝新川に設置された床止め[堰]の上流側(三滝川方向)の水位が、その高さを超えると海蔵川へ流入し、年間5回ほどを想定しています。

堀川の内水対策の概要(市事業)

県が実施した三滝新川の本格整備による海蔵川への分派・合流に伴う堀川への影響評価に基づき、内水対策事業として「海蔵川への放水路」及び「排水ポンプ施設」の新設整備等を行います。三滝新川の本格整備が完了し、三滝川から海蔵川への分派が始まる前に完了します。

○海蔵川への放水路の位置や規模は？

放水路は、海蔵保育園付近の堀川から海蔵川堤防までの間を、農地内の水路に沿って埋設します。鉄筋コンクリート構造の内空断面が幅5.25m、高さ3.10mの二連タイプのボックスカルバートで、延長約300mです。

○排水ポンプ施設は何処に設置されるの？

海蔵川左岸の、末広橋下流にある阿倉川樋門付近(堀川側)に、排水能力7m³/秒のポンプを設置します。ポンプの付帯施設などは、隣接地に設置予定です。

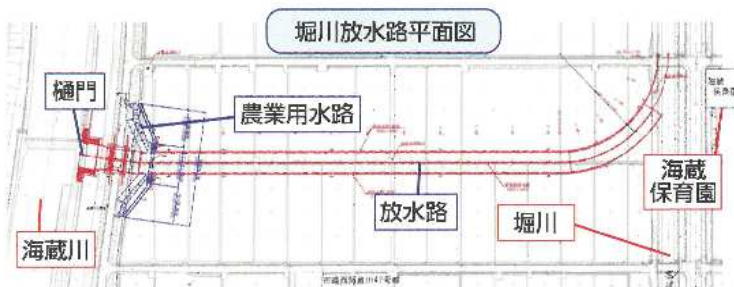
○阿倉川樋門の管理操作はどこが行っているの？

樋門の所有者は三重県ですが、日常の管理操作は四日市市が行なっています。

○整備事業はどのように進められるの？

放水路は、令和3年度に地質調査・測量を、詳細設計は同年度から令和4年度に行なっています。用地交渉は、令和4年度から進めており、用地取得完了後、令和5年度以降に着手する予定です。

排水ポンプ施設は、令和3年度に測量等を行い、令和4年度は地質調査・詳細設計・用地交渉を行っています。用地取得完了後、令和6年度以降に着手する予定です。



阿倉川樋門(堀川側)

海蔵この一年

地域のイベントも復活しつつあります。感染症への対策を心掛け、大勢のみなさんが参加されました。その中のいくつかをご紹介します。

海蔵川堤防 [海蔵川桜まつり実行委員会]



3年連続で桜まつりは中止しましたが、駐車場や看板を設置し、大勢の方が桜を見に来られました。10月と2月には青少年育成協議会の協力のもと、桜のせん定作業を行いました。

堀川菖蒲園 [堀川菖蒲園花菖蒲育成会]



今年も菖蒲まつりは中止しましたが、6月上旬～中旬には美しい花が訪れる人々を迎えました。年間を通じて育成・管理作業を行っています。9月には海蔵小学校PTAも草抜き作業を行いました。

5/21 海蔵小学校通学路点検
[小学校PTA・連合自治会・セフティネット
協議会・民生委員児童委員協議会]



5/28 山手中学校1年生対象
福祉体験教室
[社会福祉協議会 福祉部]



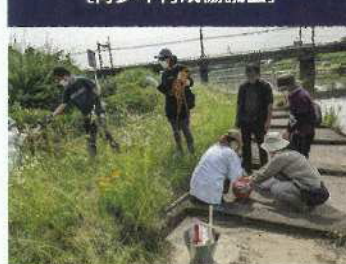
5/28 山手中学校2年生対象
防災講座
[防災会]



6/1 防犯ポスター制作
[セフティネット協議会・
学童保育所]



6/19 海蔵川水難救命ブイ点検
[青少年育成協議会]



7/4 防犯講座
[連合若生会]



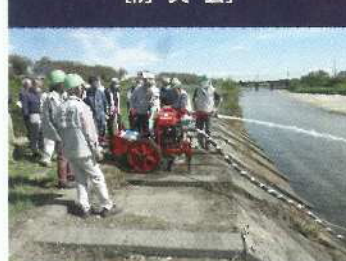
10/1 海蔵地区を歩こう会
[社会福祉協議会 健康推進部]



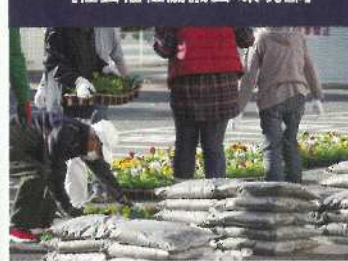
10/1 人権を考える集い
[人権・同和教育推進協議会]



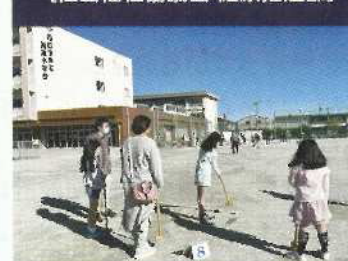
10/23 動力消防ポンプ放水訓練
[防災会]



10/29 街かど花いっぱい運動
[社会福祉協議会 環境部]



11/6 グラウンドゴルフ大会
[社会福祉協議会 健康推進部]



11/13 海蔵川・三滝川堤防清掃
[社会福祉協議会 環境部]



11/5・6

文化祭

[事業企画委員会]

3年ぶりに開催された文化祭。マスク越しにたくさんの笑顔に出会えました。歌や踊り、作品展示やおいしい食べ物など盛りだくさん。楽しんでいただけましたか。



11/16 海蔵幼稚園児と高齢者の
交流会
[社会福祉協議会 福祉部]



11/19 星空観望会
[かいぞう文庫]



11/28 海蔵学童保育所児童と
福祉部の交流会
[社会福祉協議会 福祉部]



12/10 福祉講演会
[社会福祉協議会 福祉部]



海蔵地区のいろいろな活動と一緒に取り組んでみませんか。みなさんの地域団体への参加をお待ちしています。

各団体については、海蔵地区市民センターの地域マネージャーまで気軽にお問い合わせください。
(電話 059 - 331 - 3284)

巡回公演「ひらけ！日本舞踊のとびら」



文化庁主催のこの事業は、小・中学校において、一流の文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子どもたちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家によるワークショップ等を実施することにより、子どもたちの豊かな創造力、思考力、コミュニケーション能力を養うことを目的としたものです。

文化庁が選定した日本舞踊協会学校公演委員会のみなさんが、海蔵小学校体育館で、「ひらけ！日本舞踊のとびら」と題して、ワークショップと公演を行い、4、5、6年生の児童が、日本の長い歴史・伝統の中で育まれてきた表現の豊かさや日本独特の音に合わせて踊る楽しさを体感しました。

ワークショップ 9/21



5年生児童が、浴衣を着て、正座、お辞儀、立ち座りなどの日本舞踊の基礎的な所作（動き）を学びました。「ヤットン拍子」という拍子に合わせ^{ふうじんらいじん}「風神雷神」の役になりきって生演奏で踊りました。

本公演 11/11



きく部屋



風神雷神
(生演奏フルバージョン)

みる部屋

長唄「浦島」
玉手箱をあけ老人に様変わり



おどる部屋

オムニバス作品 群舞



注）オムニバス：複数の作者による独立した作品を集め、一つにまとめたもの

本公演は、早朝7時から、トラック2台、バス1台、演者、裏方、制作スタッフ等、総勢30名が来校し、体育館に舞台が作られました。日本舞踊を楽しく学ぶプログラム「きく・みる・おどる」部屋のとびらが開かれ、4、6年生児童は、踊り、お囃子、衣装、かつら、化粧、大道具等から日本舞踊の魅力を間近で感じました。

子どもたちの感想

- ◆「おどる部屋」で実際に踊った時、かけ声が「やっとな やっとな やっとなん」だった。なぜ、「やっとな」なんだろうと思った。
- ◆踊っている人の姿勢がすごくよく、本当にきれいだった。
- ◆腰を落として歩くと、なぜ足音がたたないのか不思議だった。腰に力があるから、足に力がいらなくなり、足音がたたないのではないかと思った。太ももが痛かった。
- ◆音楽の授業では直接見たり聴いたりできない、日舞で使ったいろいろな楽器を見られ得た気分だ。
- ◆浦島太郎の衣装がとってもきれいで着てみたいと思いました。いろいろな聴き覚えのある楽器を見て、「この音はこの楽器だったのだ!」と分かりました。
- ◆着物は重そうでした。
- ◆浦島太郎の姿がすばやくかわったのですごかった。
- ◆男子もメイクし日舞ができることが分かった。
- ◆本格的な日本舞踊を見たことがなかったので、びっくりしました。浦島太郎が、玉手箱をあけるシーンは、ドキドキしました。思わず、「あけちゃダメ」と叫んでしまいました。
- ◆三味線や笛、鼓、太鼓を使って場面を表現しているのがすごかった。
- ◆衣装も顔も数秒でかえたのでびっくりした。
- ◆風神雷神の踊りは、すごく迫力があつた。





コロナ禍で変化する小学校の運動会



10月22日に海蔵小学校の運動会が開催されました。今年も去年に引き続きコロナ流行に配慮し、学年毎に時間が区切られたのですが、今年はYouTubeでのLive配信という新たな試みが組み込まれました。

去年は競技している学年以外は、各々の教室で授業を受けていましたが、今年は競技をしていない学年も、YouTube配信を教室で視聴しながら応援できるように配慮されました。



〈児童の声〉

- ◆去年までは競技時間以外は授業をしていた。画面越しだけど、他の学年も応援できたのが良かった。
- ◆他の学年のダンスなどをみることが出来て楽しかった。



〈保護者の声〉

- ◆画質が思ったより良かった。
- ◆見られなかった学年の競技が見られてすごくよかった。
- ◆体調を崩して、直接観覧できなかったけれど、画面越しに子どもの活躍を見て感動した。



令和5年4月から中学校の給食がスタートします！

四日市市では、令和5年4月から「食缶方式」による中学校の給食がスタートします。

「食缶方式」とは、保温性の高い食缶に入れて、学校に給食を届ける方式です。温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままで提供されます。成長期の中学生にとって、美味しい給食を食べることができるので、とても楽しみです！



四日市市内の全ての市立中学校の給食は、赤水町にある「学校給食センター」で調理されます。山手中学校には、すでにエレベーターも完成していますので、配送された給食は、スムーズに配膳されることでしょう。

※画像は四日市市ホームページより引用しました。完成イメージですので、実際とは異なる場合があります。

ようこそ 先輩

海蔵地区出身 世界を舞台に活躍しています！

私たちが住む海蔵の地で生まれ、育ち、その後、世界を舞台に活躍している人物を紹介します。

林良嗣(はやし よしつぐ)さん、現在72歳。40年にわたり国内外の大学や国際機関で研究が続けられています。

林さんの主たる舞台は、世界ですが、生まれ故郷の四日市をこよなく愛し、四日市とのつながりを大切にしています。四日市でのシンポジウム開催、母校山手中学校での講演、小学校・中学校の同窓会への参加などなど、時間の許す限り四日市に足を運んでいます。

今回のインタビューは、11月の海蔵地区文化祭の最中に実現したもので、近鉄川原町駅～末永町～海蔵小学校～海蔵神社を散策しながら、お話を聞かせていただきました。

経歴、研究内容を紹介し、青少年期を過ごした学生時代の活動、その活動から学んだこと、後輩である若い世代に期待することをレポートします。

経 歴

1951年 四日市市末永町で出生	1963年 海蔵小学校卒業
1966年 山手中学校卒業	1969年 四日市高校卒業
1974年 名古屋大学工学部卒業	1979年 東京大学博士課程終了
現在は名古屋市に在住し、名古屋大学名誉教授 中部大学名誉教授として活躍中	



功 績

専門は国土デザイン、都市の持続発展。林さんの最大の功績は、大学での理論研究に留まらず、国際的な研究機関に身を置き、国内外の現実的課題に真正面から取り組み、多大な成果をあげていることです。

◆世界交通学会を中心にアジア、欧州の都市交通の問題を解決

世界80カ国1000余名の研究者が集まる世界交通学会を通じて、世界的に多発する大都市の交通問題に対する政策提言を、国内外の政府機関に行っている。

具体的には、東京湾アクアライン、つくばエクスプレス、中央リニア新幹線、バンコク都市鉄道導入、インド新幹線において、自らが中心となって提案したインフラ・プロジェクトが実現している。

◆ローマクラブの正会員として活躍

林さんは、日本の大学人きっての国際派で、現在、ローマクラブの正会員（正会員は100名）で、スイスにある本部の執行役員、日本支部長を務めている。ローマクラブは1972年にローマ（現在の本部はスイス）で発足した民間のシンクタンクで、その活動は世界レベルで評価され、常に注目を集めている。地球社会では、食料・資源の枯渇、気候変動による災害の増加、生物多様性の劣化やパンデミックなど様々な問題が噴出しており、これらをどう解決していくかを議論し解決策を全世界に発信している。

インタビュー

Q 林さんの研究は幅広くかつ、極めて実践的なところにその特色がありますが、私が驚いたのは、多国籍かつハイレベルな研究者と議論していく中で、何の気後れもせず、常に輪の中心にいて、積極的にプロジェクトを推進していく林さんの行動力です。どこにその源泉があるのですか。

A 私は、物怖じすることなく人と会うことができ、そして人と会うと、すぐに親しくなれることでしょうか。それは私の特技であり、幼い頃の海洋少年団と柔道の活動から得られたものです。

Q それでは、林さんの小学校から高校で体験された四日市海洋少年団と柔道の活動についてお聞かせください。

A 少年時代の主要な活動の場は海洋少年団と柔道です。この二つの場が、私自身の精神世界を切り拓き、人格を形成し、人生を決定づけました。小学校6年生になって四日市海洋少年団に入団以後、高校卒業まで7年間活動を続けました。

海洋少年団では適切な手段と目標が与えられます。毎年、夏休みに、日本海洋少年団連盟全国大会が開催され、3種目（手旗信号、水泳、カッター）の競技があり、それに勝つことが団員個人の目標となります。四日市市団は総勢600名が一丸となって訓練に励み、総合優勝を重ねていました。

一方で、上級団員になっていくと団員を統率するマネジメントの任務が課されます。中学生になると班長に、高校生になると隊長になるのですが、人望がないと批判され、ついてこないという、苦い経験を何度もしました。遠征行事として海上保安部の巡視船に乗船して四日市から鳥羽まで往復200キロの伊勢湾航海訓練が行われます。中学生の班長は、目を離すとどこかに行ってしまう小学生たちを掌握し、高校生の隊長は600名の大集団がスケジュール通りに、しかも安全に統率できるように事前に何度も集まり企画作りに侃々諤々の議論を行います。

柔道は実父の影響を受けて、山手中学校で柔道を始めました。四日市市には20校ほどの中学校に柔道部があり、当時は、柔道部の実力がビリに近い中学校でした。ところが西尾師範が指導する四日市高校柔道部に入ると、1年生大会団体戦で優勝し、自らも6回戦って5回背負投げ一本勝ちで優勝に貢献しました。折しも、美空ひばりがヒット曲『柔』で「勝つと思うな、思えば負けよ」と歌っていましたが、西尾先生には「試合では勝つと思え！」と教えられ、すると1本を決められたのです。

なお、西尾先生は普段の練習では厳しく指導されるのですが、試合では選手に全てを託し、会場では一切声を出されませんでした。

Q 海洋少年団と柔道から得られたことは何ですか？

A 私は世界交通学会、ローマクラブなどの活動を気後れすることなく推進し、その結果、多くの友人を得ました。

これは、柔道を練習することにより、人と親しく接しながら間合いを取る呼吸を体得したこと、また、海洋少年団で、年齢や能力の異なる子どもたちの大集団をまとめ上げるマネジメントの体験をしたことが役立っていると思います。

そのおかげで中学を卒業したときにはには想像もしなかった素晴らしい人々に巡り会い、人生が豊かになりました。

Q 最後になりますが、海蔵小学校、山手中学校に通う次世代を担う若者に期待することをお聞かせください。

A 世界の資源、気候、災害問題は一国ではもはや解決不可能な状況にあります。今こそ、自己研鑽を積む経験をした人が、国際協調のリーダーシップを取る時です。勉強だけができる人では役にたちません。子どもたちが柔道や海洋少年団などの活動に飛び込み、国境を越えて友人を作って力を養ってほしい。



新サロン発足「海蔵そば打ちサロン」



「地区住民の交流と健康の推進を図るとともに地域に貢献する」ことを目的に海蔵そば打ちサロンが発足し、令和4年10月9日野田公会所にて第1回海蔵そば打ちサロンが開催されました。

講師は菰野町のそば打ちクラブの松田さんでした。サロン初代代表の堀内さんは「同年代の男性は料理をしてこなかった人が多いと思います。そば打ちを通して料理をする人が増えてもらえるようになってほしい。そば打ちにはそば粉や小麦粉などいろいろな粉を扱って掃除は大変。使用する道具も多くて、準備、後片付けが大変。でも、そばを作って持ち帰ると家族に喜んでもらえるのが嬉しい」と

そば打ちサロンへの思いを話してくれました。

参加されたみなさんは、初めてとは思えないほど、上手にそば打ちをされていました。「想像以上に力が必要だった」「汗をかくほど動いた」と笑顔でおっしゃっていたのが印象的でした。そば打ちには水分の調整が大切で時間をかけると手の熱で水分が蒸発するため、手際よく作業すること、均一に生地を伸ばして均等に切るのが美味しくできるコツだそうです。海蔵そば打ちサロンは概ね60歳以上の方であれば入会できます。夫婦でもお一人でも初心者大歓迎ということですので、ぜひ、みなさんも入会してみてください。



おばちゃま探検隊 「海蔵地区を歩こう会」に参加!

令和4年10月1日(土)に、「第2回海蔵地区を歩こう会」が開催されました。おばちゃま達も、楽しく参加してきたようです。

おばちゃまA (以下A): ええ天気になってよかったなあ。

おばちゃまB (以下B): 本当やな。そりゃあ、私たちの日頃の行いがええからに決まっとるやん!

おばちゃまC (以下C): 聞くとところによると、今回はスタッフも合わせて284人も参加しとるらしいよ。

A: すごいなあ! 大勢やけど、スタートも時間差で受付もスムーズやし、コースも分けてくれとるで歩きやすくてええ感じやな。



C: この煙突が、海蔵小学校の校歌にもなっとる「つつばしら」やな。

B: 昔は「林のごとく」いっぱい建ってたんやけどなあ。

A: ゴールしたら、クイズ①の答えは「つつばしら」って答えたらええんやな。もう一つのクイズ②は、弓道場らしいけど…知っとる?

B: うん。弓道場があるのは知っとるよ。でも、名前までは知らんなあ。



C: 「めいきゆうしゃ」っていうんやて。

B: そうなんや。万古町から三ツ谷に移転したのは知ってたよ。

A: 間近で弓道を見れてドキドキしたわ。

C: 「おもてなし処」でなが餅ももらえだし、参加賞や千本引きも面白かったな。

B: インスタグラム「#海蔵散歩」の投稿もして特別賞もゲットしたし。

A: 海蔵地区を歩くのも楽しかったなあ!